

バルカーテクノロジーニュース 冬号発刊にあたって



謹んで2023年新春のお慶びを申し上げます。皆さまには日頃からバルカーテクノロジーニュースをご愛読いただき、心より御礼を申し上げます。

さて、去年は世界規模での波乱の年として記憶される年となりました。世界的な感染拡大から3年近くが経過したCOVID-19による行動制限は私達の生活様式や社会活動を大きく変革し、デジタルコミュニケーション技術とインフラ整備が何年も前倒で社会に実装されつつあります。また、ウクライナ情勢を端緒とする世界的な調達リスクや価格高騰、地政学的なリスク、そして近年急速に悪化する一方に見える地球環境など、世界規模で不安定な世の中に対して、企業としてどのように社会基盤・経済基盤への安定に貢献出来るか真剣に模索し続けた年でもあったと思います。しかしその中で、ウィズコロナの定着等により3年振りに行動制限のない年末年始は緩やかな経済活動の回復の兆しを予感させます。この年明けを皆さまとともに慶びたいと思っています。

さて、シールエンジニアリングと材料設計の分野で技術の蓄積を行ってまいりました当社は、中期経営計画NF2023の中核であるコーポレートトランスフォーメーション(CX)の旗印の下で、真のH&S企業への進化と変貌を遂げるための変革を継続しています。その主要なピースの一つであるオープンイノベーション活動は、既に当社の技術開発活動の中核の一部を占め顧客の皆さまのニーズや社会課題へのソリューションをお届けする機会や実績を直実に増やしています。特に国内外において優れた技術を持つ研究機関、アカデミア、企業などとの間の協業実施体制においては、昨年度後半から具体的な顧客ニーズや社会課題へのソリューションが次々に導き出されてきており、現在はこれらをお客さまのお手元あるいは社会システムに実装するその手法や安心・安全にお使いいただける新規かつ現実的な手法の技術による実現に奮闘しています。必要な皆さまへの確にお届け出来るよう努力を尽くしますので、どうぞご期待いただきたく存じます。

今号のテクノロジーニュースでは、このような背景の下、顧客の皆さまにも執筆をご協力いただいた工事進捗管理システムのご活用事例、顧客の皆さまにご活用いただけるシールトレーニングサービスの最新状況を始め、新材料設計技術等により過酷環境でも漏れを起こさないシール開発、センシング/IoT技術を活用した工場設備の予知保全システムなどを取り上げました。当社技術の原点であるシールエンジニアリングの応用技術とともに、新材料設計技術やデジタル技術を活用したこれらの記事が、皆さま方の活動や安心・安全のお役に立てることを心より願っています。今年も、当社の製品やサービスへのご愛顧とともに、このバルカーテクノロジーニュースをご愛読賜りますようお願い申し上げます。

取締役CTO 青木 睦郎